



2006年9月号

No.156 Vol.27-3 平成18年9月1日発行

目 次

特集○緑環境の評価

巻頭言／不都合な真実	鳥取環境大学教授 木 俣 信 行	2
1. 緑環境をいかに評価するか		
1) 都市・建築環境工学の観点から緑環境をいかに評価するか	梅干野 晃	4
2) 社会科学的観点からの緑環境の意義と評価	浅見 泰 司	8
3) 緑環境と生物の多様性	亀山 章	12
2. 緑環境評価の最新状況		
1) 東京都における建築物を取り巻く緑環境の現状	山 口 隆 子	16
2) CASBEEにおける緑環境の評価	吉 崎 真 司	20
3) 環境共生住宅認定基準における緑環境評価	濱 野 周 泰	24
3. 緑環境評価の新しい視点		
1) 緑環境を統合価値として評価する試み —都市に緑を自己増殖させるメカニズムづくり—	甲 斐 徹 郎	28
2) 緑景観の評価に関する研究 —良好な景観形成に向けた緑の評価手法に関する考察—	折 原 夏 志	32
3) 緑の多様性を評価する：エコキャパシティの提案	神 谷 博	36
4. 緑環境への取り組み事例		
1) フェリス女学院大学におけるビオトープ・緑化への取り組み	佐 藤 輝	40
2) バイオラング	石 田 晶	43
3) 微気候デザインによるまちづくり宮崎台「桜坂」 —既存の地形と緑を活かした住宅地開発の事例—	清 水 敬 示	46
4) コモンガーデン仲町台 -10×豊か（ジュウバイユタカ）の街づくり	藤 原 寛 典	49
5) サンヴァリエ桜堤における街・ひとのための緑づくり —UR都市機構の緑環境への取り組み—	村 岡 賢 二	52
6) エコミックスシリーズ	小 澤 満	55
7) フォレストレイクひばりが丘 —自然環境と共生する住まい 環境共生住宅認定（団地供給型）—	水 野 泰 裕	58
—————		
〈連載③〉 ドイツにおける省エネルギー住宅の現状と研究開発の動向		
省エネルギーと建物の湿気	田 中 紅 梨	61
—————		
〈事務局だより〉 会議等の開催状況	65	
〈財住宅産業研修財団からのお知らせ〉 第4回「真の日本のすまい」提案競技の実施	66	